

事業支援取得資格 23年度は236人が利用 大館市 大型特殊など43種類

大館市は資格取得支援事業の2023年度利用状況をまとめた。在職者を中心に236人が、大型特殊自動車免許など計43種類の資格取得に活用した。14年度の事業開始から10年で利用者は2000人を超え、求職者や在職者らが技能向上を図るなど需要は根強い。本年度も事業を継続し、利用を呼びかけている。

開始10年で2千人超 人材育成を後押し

商工課によると、23年度の

利用の内訳は在職者が179人、求職者が27人、高校生30人。在職者が全体の7割超を占めた。22年度は265人と利用が多かったが、23年度は例年並みで推移し、技能向上や業務拡大につながる資格の取得に活用したとみられる。対象経費のうち、補助総額は10338万2200円となっ

た。

補助対象となる資格297種類のうち、制度を利用して取得した資格は43種類。大型特殊自動車免許が34人と最多で、準中型自動車免許28人、フォークリフト運転技能講習修了22人と続いた。

事業は企業の人材育成を後押ししようと、14年7月に創設された。初年度の利用は1

33人だったが、以降、200人前後で推移。事業開始から23年度までで2104人が利用し、補助総額は8823万6200円となった。利用の内訳は在職者が1672人、求職者が199人、高校生が233人。在職者を中心に利用が広がっている。

同課の担当者は「10年間で利用が2000人を超え、一定の成果を得ることができた」と話す。「資格取得を後押しすることで、雇用機会を拡大や所得向上を促進する目的で実施している。本年度も同様の内容で事業を継続し、

就職活動中の人やスキルアップを目指す求職者に利用してほしい」と呼びかけた。

事業は仕事に役立つ資格を取得する際、対象経費の半分（上限10万円）を補助する。

対象者は市内在住で70歳未満の在職者、求職者、高校生、職業能力短大生、訓練生。市内の事業所が経費を負担して申請する場合は、市外在住の在職者も対象となる。対象経費は受講料や受験料、登録料など。

申請期限は在職者と求職者が資格取得日から6カ月以内。高校生は自動車学校入校日や技能検定試験日などから6カ月以内。職能短大生と訓練生は技能検定試験日から6カ月以内。問い合わせは同課商工係（☎0186・43・7071）。